

己を律し、行動する JAYCEE

「自立」と「共助」が調和し、

「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」が漲る社会へ

2010年代運動指針の要旨① ～時代背景～

2010年代という「時代」

- ◆ 国家としての大きな「転換」＝人口減少社会へ
 - ◆ 公的部門（国・地方）の債務超過
- ➡ 行政サービスの持続可能性の危機！

＜喫緊の課題・・・セーフティネット（年金・医療・介護等）再構築，疲弊した地域経済の活性＞

➡ 「選択と集中」による公的部門の健全化と、新たな行政のカタチの模索、ひいては地域主権型社会への転換へ

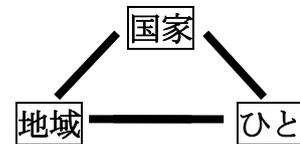
2010年代運動指針の要旨② ～「自立」と「共助」～

「自立」を前提としながらも「共助」の精神を大切に社会

- 「自立」とは・・・国家における主権者として積極的に民主主義のプロセスに参画し、経済活動や環境の整備等を通じて社会的役割を果たすこと、つまり「公共の担い手」としてあること
- 「共助」とは・・・様々なコミュニケーションを通じて互いが存在を認め合い、刺激し合い、競い合い、励まし合い、助け合い、共にたくましく「生き抜く」こと

2010年代運動指針の要旨③ ～政策ビジョン～

政策ビジョン＝理念・運動指針をベースとしたJC運動・事業のカタチ



- ひとのかたち・・・「純粋な正義感」溢れるひとづくり（「自らを律し、そして他がためへ」という精神）
 1. 日本人としての「誇り」を未来へ伝承
 2. たくましく生き抜く力の醸成
 3. 人間力溢れる人格の形成
 4. 地域のリーダーとアクティブ・シチズン（行動する市民）の育成
- まちのかたち・・・コミュニティと経済の振興。「全体最適化」を目指したまちづくり
 1. 多面的ネットワークの構築による地域コミュニティの再生
 2. 利他の精神に基づく地域企業の育成と地域経済の振興
 3. 地域力再生の鍵となる「地域全体最適化」を目指すまちづくり
- くにのかたち・・・「自立」した国家の創造と、世界に貢献するくにづくり
 1. 国民の意識を刺激し、世論喚起を促す運動の発信
 2. 一人ひとりの主体的な貢献による自立した国家の創造
 3. 世界の人々と相互理解を図り、国家の発展に寄与
 4. グローバルな視野を持って、国際貢献を行い国際発展に寄与

2010年代運動指針の要旨④ ～己を律する～

● 「己を律する」こと

- ・ こどもたちへの教育をする前に、自分はきちんとした大人でしょうか？
- ・ 環境運動をする前に、自らは環境へ配慮していますか？・・・などなど。

➡ ● まずは自分を見つめ直すことから始まる

- ・ 己を律することで、私たちのコトバに「リアリティと説得力」が生まれ、市民の心に響く「言霊」となり、効果的な真の運動へと進化する。

➡ ● そして私たちに求められているのは「行動」である

今を生きる若者として、青臭く、泥臭く、「行動」しよう！ それこそが真のJAYCEEとしての生き方